

独立行政法人 労働者健康安全機構

福島労災病院



診療ご案内

(2026 年度版)



心通い合う良質で信頼される医療・看護を実践し、
勤労者や地域の皆様の健康を支えます。

目 次

病院長あいさつ	1
福島労災病院理念・基本方針	3
福島労災病院概要	3
認定施設一覧	4
診療科紹介	
(1) 血液内科・腫瘍内科	5
(2) 腎臓内科	6
(3) 消化器科（消化器病センター）	8
(4) リウマチ・膠原病内科	12
(5) 循環器科	13
(6) 消化器外科・一般外科（消化器病センター）	15
(7) 呼吸器外科（呼吸器疾患センター）	18
(8) 整形外科（上肢機能再建外科センター）	19
(9) 脳神経外科	21
(10) 眼科	24
(11) 耳鼻咽喉科	25
(12) 放射線治療科	26
(13) 病理診断科	28
(14) 麻酔科	29
(15) 皮膚科	29
(16) 泌尿器科	29
(17) 婦人科	30
医療専門資格・認定資格紹介	
(1) 看護部	31
(2) 薬剤部	32
(3) 中央検査部	33
(4) 中央放射線部	34
(5) 中央リハビリテーション部	35
(6) 内視鏡診療部	36
(7) 入退院支援センター	37
(8) 相談支援センター	37
地域医療連携室のご案内	38
フロアマップ	40

病院長あいさつ

2026年度版の診療案内をお届けします。各診療科の医師、取り組みと実績などをわかりやすくお伝えしております。今年度も引き続き、皆様から多くの患者様をご紹介いただければ幸いです。

〈人事の紹介〉

今年度は外科に、主任部長として菊池智宏先生、副部長として林下宗平先生に着任していただきました。武藤副院長、宮澤部長、又吉部長には、引き続き常勤嘱託医として、菊池主任部長を支えていただきます。消化器科には昨年11月に高畑陽介部長が、循環器科には今年度鈴木喜敬副部長が着任されました。また、脳神経外科の遠藤末緒部長は、育児休暇から復帰されました。若手医師も、昨年10月に消化器科、呼吸器外科、脳神経外科で、今年度も外科、消化器科、整形外科で交代があり、整形外科では1名増となりました。診療科紹介のページでぜひご確認ください。



初期臨床研修医（右から）：

たかしま たいが はまぐち ゆうひ
高嶋 大河、濱口 雄飛、
はが ゆうと
芳賀 佑斗



研修医：ふきや あおい むらかみ だい き
吹谷 碧惟、村上 大樹

初期臨床研修医は今年度から3名に増え、高嶋大河先生、芳賀佑斗先生、濱口雄飛先生が研修を開始しました。2年目の吹谷碧惟先生、村上大樹先生と共に、若い力で診療を盛り立てています。昨年活躍された菊地亮介先生、藤村剛志先生は専攻医として関東圏に異動しましたが、将来福島県で活躍してくれることを期待しています。

呼吸器科の石原俊晴先生には、これまで当院およびいわき市の呼吸器疾患診療を支えていただきましたが、ご相談の上で診療から退いていただきました。ご高齢になられるまで長年にわたるご貢献に、深く感謝申し上げます。

医師以外にも、看護部長、総務課長、医事課長が交代しております。また、各部署に新人を迎え、院内協力して皆様の信頼に応えるように診療してまいります。

〈今年度の診療〉

地域医療支援病院および二次救急告示病院として地域を支えることが、当院の使命と考えております。地域医療支援病院としては、地域の皆様との連携を重視し、今年度も紹介受診重点医療機関（紹介患者様への外来を基本とする医療機関）に認定され、皆様と連携して紹介患者様を受け入れてまいります。消化器科、外科、呼吸器外科、血液内科、呼吸器科、放射線治療科などによる「がん診療」は診療の柱です。当院では長年に渡りがんの診断から手術、放射線治療、化学療法などの治療、就労との両立支援、緩和ケアや在宅医療への橋渡しに取り組んできました。今年度も、より多くの患者様をご紹介ください。がん以外にも、脳腫瘍を含む全身の腫瘍性疾患、心筋梗塞や脳卒中等の心血管疾患、整形外科疾患、各内科・外科の専門疾患、眼科疾患、耳鼻咽喉科疾患などご紹介をお願いします。

救急医療について、昨年度は2,110件の救急搬送を受け入れました。夜間休日の救急輪番体制再整備により、いわき市医療センター、かしま病院、呉羽総合病院、常磐病院、福島労災病院、松村総合病院が順に救急を担当して、市内の救急受け入れは改善されました。その影響で、当院では救急要請が一昨年度に比較して3/4ほどに減少し、救急応需率は高くなりましたが、受け入れ件数は減少しました。今年度は、平日の日中や輪番日には救急要請を断らないように、さらに院内体制を整備しております。

〈新病院建築〉

病院の現地建て替えについては、2年前に基本計画策定を開始したのですが、経営改善による黒字確保が優先事項となって足踏み状態です。今年度は黒字確保の見込みがたてば、計画を再開する予定にしております。新病院建築は、当院の長年の悲願です。今後も経営改善を継続して、できるだけ早期に新病院の姿を皆様にみていただけるように前進してまいります。

今年度も、医師会や病院協議会、開業医の皆様と連携していわき市の医療に貢献し、「地域の人々が集える場所として地域を支える病院」を目指します。引き続き、福島労災病院へのご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和8年7月吉日

病院長 齋藤 清

福島労災病院理念

心通い合う良質で信頼される医療・看護を実践し、勤労者や地域の皆様の健康を支えます。

福島労災病院基本方針

- 医療を受ける方の権利を尊重し、受ける方が主役の医療を実践します。
- 医療人として常に研鑽し、チーム医療を軸とした高質な医療を安全・安心かつ確実に提供します。
- 地域の医療機関等との連携を図り、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます。
- 永年にわたる勤労者医療の実績を活かし、働く方の健康維持と早期社会復帰に取り組みます。

福島労災病院概要（令和8年8月1日現在）



- 所在地 〒973-8403
福島県いわき市内郷綴町沼尻3番地
- 設立年月日 昭和30年3月22日
- 稼働病床数 309床（一般病床）
- 診療科目 （正式標榜科目 22診療科）

内科、心療内科、神経科（休診中）、呼吸器科（休診中）、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、歯科（休診中）

●病院の特徴

福島県がん診療連携推進病院・地域医療支援病院・病院機能評価認定病院
地域包括ケア病棟・レスパイト入院受入

●専門センター

消化器病センター・呼吸器疾患センター・運動器疾患センター・栄養サポートセンター
上肢機能再建外科センター・タバコ関連疾患治療センター・相談支援センター
治療就労両立支援相談窓口

●主な医療機器

血管撮影装置：INFX-8000V/JE、CT撮影装置：Aqilion Prime SP / i Edition
MRI撮影装置：MAGNETOM Avanto SQ（1.5T）
放射線治療装置：Clinac-iX、X線TVシステム：CUREVISTA Open
乳房撮影装置：AMULET Innovarity
骨密度測定装置：Discovery

認定施設一覧

1. 指定医療機関

- ① 病院開設承認
- ② 健康保険法に基づく医療機関の指定
- ③ 国民健康保険法に基づく医療機関の指定
- ④ 生活保護法に基づく医療機関の指定
- ⑤ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく医療機関の指定
- ⑥ 身体障害者福祉法に基づく更生・育成（整形外科）医療機関の指定
- ⑦ 労災保険におけるリハビリテーション医療実施施設の指定
- ⑧ 原子力爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づく一般疾病医療機関の指定
- ⑨ 救急病院の告示
- ⑩ エイズ治療拠点病院
- ⑪ 臨床研修指定病院
- ⑫ 福島県がん診療連携推進病院
- ⑬ 地域医療支援病院
- ⑭ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ⑮ 原子力災害医療協力機関
- ⑯ 医療被ばく低減施設認定
- ⑰ 福島県初期被ばく医療機関
- ⑱ 福島県肝疾患専門医療機関
- ⑲ 岩手県肝炎治療指定医療機関
- ⑳ 東京都肝臓専門医療機関
- ㉑ 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項に基づく指定医療機関
- ㉒ 日本医療機能評価機構認定病院
(3rdG : Ver.2.0)
- ㉓ 福島県診療・検査医療機関
- ㉔ 紹介受診重点医療機関
- ㉕ 福島県地域リハビリテーション相談センター



2. 学会認定施設

- ① 呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設
- ② 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本リウマチ学会教育施設
- ⑤ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ⑥ 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ⑦ 日本肝臓学会認定施設
- ⑧ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ⑨ 日本禁煙学会教育施設
- ⑩ 日本血液学会認定専門研修教育施設
- ⑪ 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設
- ⑫ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ⑬ 日本消化器外科学会専門医制度指定専門医修練施設
- ⑭ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ⑮ 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- ⑯ 日本心身医学会認定医制度研修診療施設
- ⑰ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ⑱ 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修基幹施設
- ⑲ 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ⑳ 日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度関連施設
- ㉑ 日本乳癌学会専門医制度関連施設
- ㉒ 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- ㉓ 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
- ㉔ 日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
- ㉕ 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ㉖ 日本輸血・細胞治療学会（I & A制度）認証施設
- ㉗ 日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働認定施設
- ㉘ 日本臨床栄養代謝学会 NST 専門療法士認定教育施設
- ㉙ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- ㉚ 日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会専門研修連携施設
- ㉛ 日本放射線腫瘍学会認定施設

診療科紹介

血液内科・腫瘍内科

〈特 色〉

2014年1月に「腫瘍内科」として医師1名で開設しました、そして2020年4月から「血液内科・腫瘍内科」に拡がり福島県立医科大学血液内科の支援により毎週月曜日の福島医大病院医師による外来診療が始まりました。その後さらに血液内科を充実させ、福島医大病院といわき市医療センターの血液内科との連携を深め、地域の血液内科診療を支えるよう努めております。一方の腫瘍内科領域の受入れは難しくなっておりまいりました。

診療実績（患者数は2024年度）

外来 延患者数 1,931人
入院 延患者数 3,700人 実患者数 58人
（主な疾患 悪性リンパ腫：40人、
肺がん：8人）

扱える疾患

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、真性多血症、本態性血小板増多症、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、鉄欠乏性貧血、ビタミンB12欠乏性貧血、栄養障害性貧血、サラセミア、キャスルマン病、肺がん、乳がん、原発不明がん、一般救急、介護困難、老衰などの患者様を診させていただいております。

〈力を入れている取り組み〉

大学病院やがん専門病院や地域がん診療連携拠点病院と連携して外来化学療法中の支持療法、化学療法の引継ぎや治療後の経過観察に対応してきましたが、近年は患者様受け入れを大きく制限しなければならない状況が続いています。その他に、地域の療養病院や診療所と連携して、身近にある環境で療養できるよう逆紹介させていただいております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

大変有難い事に、血液内科も腫瘍内科も多くの問い合わせを頂いているのですが、当科は常勤医師一人で診療している上に、2024年4月に始まった医師の働き方改革が加わり、患者様受け入れを院内に制限しなければならない状況が続いています。

当院は厚労省と深い関わりがあるため医師の働き方改革への対応を疎かにすることは出来ないのですが、昔の様に時間外労働を増やす対処方法は不可能になってしまい、能率を上げるしかありません。

しかし、いわき市は全体的に医師が不足している地域で救急と介護を支える役目も分担しており、専門領域のニーズに応える事すら難しくなっています。

院内だけでなく、地域の先生方や医療職や介護職や消防署や警察署や福祉職の方々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

いしづか ひかり
石塚 光

腫瘍内科主任部長

- 専門：血液内科、腫瘍内科
- 資格：日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
日本血液学会 認定血液専門医
日本内科学会 総合内科専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了



腎 臓 内 科

〈特 色〉

慢性腎臓病（CKD）は尿蛋白が1+以上で持続している状態、もしくはeGFR 60ml/min/1.73m²未満に低下している状態であり、その原因としては、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病から慢性腎炎など原発性の疾患が挙げられます。現在日本人の2,000万人、5人に1人がCKDであると推

定されており、CKDは放置すると腎臓の働きが低下して人工透析や腎移植が必要となるほか、CKDは脳卒中や心筋梗塞、心不全などの合併症や死亡のリスクが高いことも知られています。低下した腎機能を回復する治療は確立されておらず、腎炎などの原因疾患の治療、糖尿病や高血圧症の管理を中心とした腎不全管理が重要となります。

CKD診療ガイドラインではeGFR 45ml/min/1.73m²未満（40歳未満ではeGFR 60ml/min/1.73m²未満）、持続する顕性蛋白尿が腎臓内科紹介推奨の目安となりますが、臨床的には男女共、とくに高齢者ではCr 0.9~1.0mg/dl以上より腎機能の低下が疑われますので腎機能や尿所見に異常がみられる場合には早めに腎臓専門医へご相談ください。

扱える疾患

慢性腎臓病（CKD）、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の治療・管理を中心に診療を行っております。また、少数ではありますが入院患者様の透析治療を担当しております。

〈力を入れている取り組み〉

当院では現在腎生検によるCKDの精査や透析導入、維持透析には対応できませんが、検尿異常を認める患者様の初期対応や透析期までの保存期腎不全患者様の管理について、状況に応じて入院治療や外来併診での腎不全管理をご相談させていただいております。また、維持透析患者様の手術などの入院治療や入院精査の際には、入院透析について当科で対応させていただいております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

（とくに若年の）腎生検の必要性が高い患者様や急性腎障害（AKI）など緊急性、重症度の高い患者様、透析導入が早急に必要な場合につきましては、透析施設など他院へのご相談をお願いさせていただいております。ご不便をおかけして誠に申し訳ございませんが、単身での体制でもありご理解のほどよろしくお願いいたします。

くさの ゆうき
草野 裕樹
腎臓内科主任部長
糖尿病・内分泌科部長

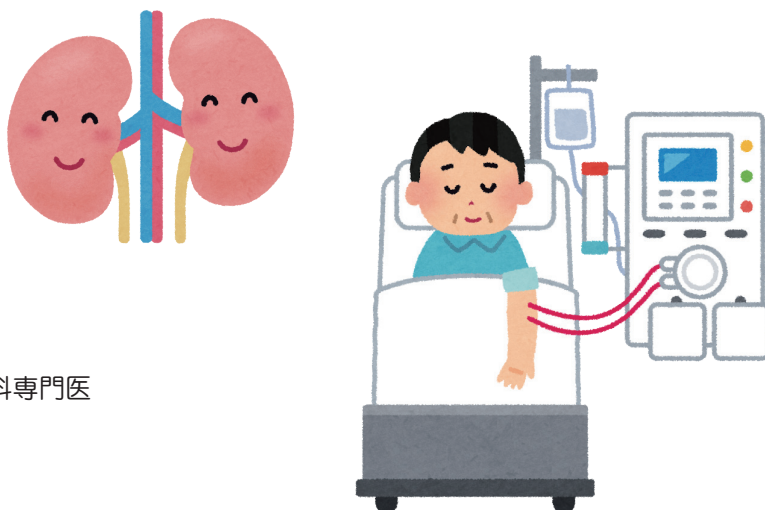
■専門：腎臓内科一般

■資格：医学博士

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本腎臓学会 腎臓専門医

緩和ケア研修会修了



各センターについてご紹介

★「消化器病センター」とは

当院で最も診療件数の多い消化器疾患について、診断から治療まで一貫して行える体制を構築し、迅速かつ効率的に、より優しい医療の提供を目指しています。以前から、術前・術後の管理において連携の良かった消化器内科医と外科医（消化器領域）の連携は更に密接なものとなり、円滑で柔軟性のある医療チームの実践により、診療件数は増加し、診療の質の向上が図られています。

★「呼吸器疾患センター」とは

吸器疾患全般に対し、総合的かつ専門的な診療を行っております。

肺癌の診断に必要なCT検査や気管支鏡検査をはじめ、各種検査・治療に対応しており、肺癌と診断された患者様につきましては、呼吸器外科として手術を含めた一貫した治療を提供しております。

★「上肢機能再建外科センター」とは

肩関節・肘関節・手関節や末梢神経に代表される上肢機能の再建を目的としたセンターです。多くの患者様を専門的かつ集中的に治療を行うことが可能です。

★「タバコ関連疾患治療センター」とは

当院では、令和元年10月より「禁煙治療センター」として禁煙治療を行っておりますが、令和2年4月より「タバコ関連疾患治療センター」と名称を変更いたしました。従来の禁煙治療に加え受動喫煙等も対象とすることとし、タバコに関するすべての疾患に対応していきます。

消化器科

(消化器病センター)

〈特 色〉

消化器科は、常勤医師12名および外部からの診療応援医師4名で診療にあたっています。各種専門医が在職しており、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会の指導施設であり、日本がん治療認定医機構の認定研修施設になっています。

診療対象疾患は消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患の消化器疾患全般に対応し、特に悪性腫瘍に関しては各種精密検査や内視鏡治療、エコー下治療、IVR治療、抗癌剤治療などを行っています。



〈力を入れている取り組み〉

消化管疾患診療：当科の内視鏡システムは最新のオリンパス社製EVIS X1シリーズが導入されており、通常の下上部内視鏡に加え、シングルバルーン内視鏡による小腸内視鏡検査にも対応しています。治療では早期の食道癌、胃癌、大腸癌に対するESD、大腸ポリープに対するポリペクトミーを行っています。また、スクリーニング検査では苦痛の少ない検査を心がけており、上部内視鏡検査を鎮静下で受けることが可能で、また経鼻内視鏡（オリンパス社製GIF-1200N）を3本用意しており、常時検査が可能です。下部内視鏡検査では細径内視鏡による苦痛の少ない検査も行っています。挿入が難しい例では、その場でCTコロノグラフィへの移行が可能です。

肝疾患診療：ウィルス肝疾患、自己免疫性肝疾患、脂肪性肝疾患などを中心に診療しています。肝疾患では肝生検などの精密検査も行っていますが、最近では脂肪性肝疾患に対して超音波診断装置（Canon社製Aplio i800）を用いた肝硬度測定、脂肪量測定も可能になっています。肥満を伴う脂肪肝症例に対し、栄養・運動指導を中心とした脂肪肝外来も開設しました。肝細胞癌に対する治療ではラジオ波凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動注塞栓化学療法などを行っています。肝動注塞栓化学療法では放射線IVR専門医と治療を行っています。

胆膵疾患診療：ERCP関連処置による精密検査や治療を行っています。経口胆道鏡（オリンパス社製CHF-B290）が導入されており、胆道の精密な検査が可能です。超音波内視鏡（オリンパス社製GF-UCT260）下での組織診、ドレナージ治療も行っており、胆膵領域の処置は福島医大や独協医大の専門医と一緒に最新の知見をもとに診療しております。



〈地域医療機関の先生方へ〉

各種消化器疾患に対する、スクリーニング検査から精密検査まで対応いたしますので、いつでもご相談・ご紹介いただけますと幸いです。宜しくお願いいたします。

2025年度検査治療実績

内視鏡検査総数／治療内視鏡検査数	6,980件/1,459件
上部内視鏡検査・治療	3,509 (計)
食道：ESD/EEMR	12/1
胃：ESD/EMR/ポリペクトミー	84/4/15
アルゴンプラズマレーザー凝固術	7
食道・胃静脈瘤治療（EIS/EVL）	30/11
消化管拡張術（バルーン拡張）	12
消化管ステント：食道/胃十二指腸	3/15
胃瘻	9
イレウスチューブ	45
下部内視鏡検査・治療	2,744 (計)
大腸：EMR・ポリペクトミー / ESD	663/77
消化管拡張術（バルーン拡張）	7
消化管ステント：大腸	36
内視鏡的膵胆管造影検査・治療	471 (計)
内視鏡的乳頭切開術	64
経乳頭の胆管/膵管プラスチックステント	264/38
経乳頭の胆管金属ステント	45
内視鏡的経鼻ドレナージ：ENBD/ENPD	1/0
小腸内視鏡検査	21 (計)
カプセル内視鏡	8
超音波内視鏡検査	237 (計)
EUS-FNA	59

腹部超音波検査・治療	2,898 (計)
ソナゾイド造影	11
RVS	9
肝生検	22
肝吸引腫瘍生検	24
アブレーション：RFA/MWA	8
肝膿瘍ドレナージ	0
PTCD	12
PTGBD・PTGBA	49
肝嚢胞穿刺	5
透視下検査・治療	233 (計)
食道・胃十二指腸透視	77
大腸透視	2
小腸透視	5
CTコロノグラフィー	147
経皮経肝胆道金属ステント	2
カテーテル治療	196 (計)
肝動注・塞栓療法/門脈塞栓術	15/2
CVポート造設	62
CVC/PICC	37/80

えじり ゆたか
江尻 豊



副院長・消化器科部長
入院・外来診療部統括部長
入退院支援センター室長
勤労者医療総合センター副センター長
地域医療連携室長・相談支援センター室長

■専門：消化器内科一般、消化器がん、消化器内視鏡

■資格：医学博士

福島県立医科大学 臨床教授（消化器内科）
福島県立医科大学 消化器内科学 客員講師
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本超音波医学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・指導医
日本禁煙学会 禁煙認定指導者
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
臨床研修指導医プログラム責任者
放射線取扱主任者
日本医師会認定産業医
緩和ケア研修会修了

すずき ともひろ
鈴木 智浩



消化器科主任部長
消化器病センター長

■専門：ウイルス性肝疾患、自己免疫性肝疾患
脂肪性肝疾患、肝細胞癌

■資格：医学博士

日本内科学会 総合内科専門医・指導医・
認定内科医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了
日本医師会認定産業医



た い ま ゆ み
田井 真弓

消化器科部長
総合内科部長
栄養サポートセンター長

■専門：消化器内科一般

■資格：日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本栄養治療学会 認定医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医
産業医科大学基本講座ディプロマ
緩和ケア研修会修了
ICD

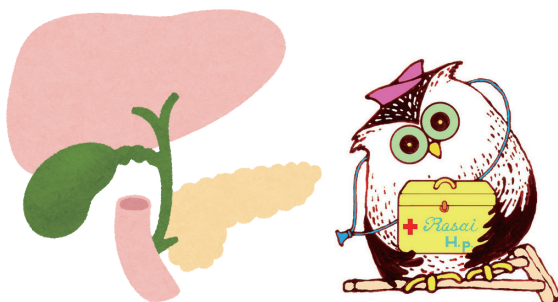


いち い お さ む
市井 統

消化器科部長
内視鏡診療部長

■専門：消化器内科一般

■資格：日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医



まつおか なお き
松岡 直紀

消化器科部長



■専門：消化器内科、リウマチ膠原病内科

■資格：医学博士
日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本リウマチ学会 専門医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了

たかはた ようすけ
高畑 陽介

消化器科部長



■専門：消化器内科全般

■資格：日本内科学会（認定内科医）
日本消化器病学会（専門医）
日本消化器内視鏡学会（専門医）
日本肝臓学会（専門医）
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了

い がり ごう
猪狩 剛

消化器科部長

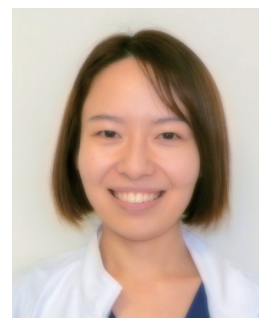


■専門：消化器全般
内視鏡治療

■資格：臨床研修指導医
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本消化管学会 胃腸科専門医
緩和ケア研修会修了

しらいわ れ な
白岩 玲奈

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：日本内科学会 総合内科専門医
緩和ケア研修会修了

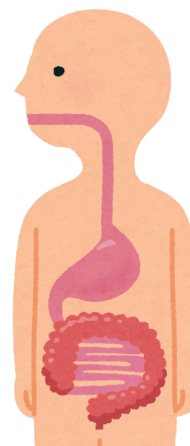
あかいけ かず き
赤池 和喜

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：緩和ケア研修会修了



はた さくら
秦 さくら

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：産業医

むらかみ こう た ろ う
村上 弘太郎

消化器科医師



■専門：消化器内科一般



リウマチ・膠原病内科



〈特 色〉

関節リウマチは、生物学的製剤の登場により治る可能性のある疾患になりました。生物学的製剤の種類も増え、病院での注射と自宅での自己注射が選択できます。膠原病は、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、ベーチェット病等があります。いずれも厚生労働省の特定疾患に指定されており、ステロイド治療が主体となります。

リウマチ・膠原病は、内科疾患の中でも診断が難しく、確定診断までに時間がかかることも多い疾患です。専門医でないと診断がつかず、治療できないことがよくあります。しかし、全国的にリウマチ・膠原病の専門医は不足しています。福島県も同様で、とりわけいわき地区は少なく、これまでは福島市や郡山市等遠方の病院に通院していた患者様も多いと思います。今後は、地元で専門的治療を受けることができます。

〈力を入れている取り組み〉

リウマチ性疾患に合併した間質性肺炎、呼吸器感染症

〈地域医療機関の先生方へ〉

福島県立医科大学リウマチ・膠原病内科と連携を取り、重症の場合は入院を依頼します。退院後は当院に通院できます。



さ さ じ ま とも み
佐々島 朋美
リウマチ・膠原病内科主任部長

扱える疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、ベーチェット病、リウマチ性多発筋痛症、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、高安動脈炎、側頭動脈炎、IgG4関連疾患、成人スチル病



■専門：リウマチ、膠原病

■資格：医学博士

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本リウマチ学会 専門医

日本結核・非結核性抗酸菌症学会 認定医

臨床研修指導医プログラム責任者

Infection Control Doctor (ICD)

緩和ケア研修会修了

日本禁煙学会 認定指導医

《タバコ関連疾患治療センター》についても担当しております。

タバコに関連するすべての疾患の相談窓口となり、院内外から紹介を受け、患者様の症状に応じて当院の適切な診療科に紹介します。各科での精査・治療方針決定後、当センターに戻してもらい、紹介医へ逆紹介をします。

循環器科

〈特 色〉

当科はいわき市のみならず浜通りの循環器疾患の患者様に対して外来診療、入院診療、救急診療、産業保健医を近隣の医療機関と連携して対応しています。虚血性心疾患・末梢動脈疾患に対するカテーテルインターベンション、心不全・不整脈治療は勿論、福島県立医科大学附属病院と連携し抗不整脈デバイスの管理を行い肺高血圧専門外来も開設しています。

また従来当院には不整脈専門医が不在でしたが2025年10月から毎週月曜日に福島県立医科大学の金城貴士医師による不整脈専門外来も開設しました。

循環器診療には心臓血管外科との連携が欠かせませんが当院は近隣のいわき市医療センターと病病連携して対応しております。また、地域に根差した病院として循環器疾患と関連するいわゆる生活習慣病に関しても積極的に介入し循環器科疾患のみならず全人的な診療も行っております。



〈力を入れている取り組み〉

日本は超高齢化社会を迎え、それに伴い心不全患者様が増加し続けており、心疾患による死亡者数はがんに次いで死因の第2位を占めています。そのような状態になると、病院が高齢心不全患者様であふれ、病院が患者様を収容できなくなる事態が想定されることや莫大な医療費がかかることなど、社会的な問題となる可能性が考えられます。そのため、日常生活において心不全を予防し、再発させない治療が大切です。心臓病の患者様に対して行う運動療法いわゆる心臓リハビリテーションは心機能の改善や悪化の予防などに非常に有益であることが確認されています。当科では積極的に心臓リハビリテーションを勧めており、心不全のみならず狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の患者様においても可能であれば入院・外来患者様に心臓リハビリテーションを施行しています。

また入院中の心不全患者様に対しては定期的に心不全カンファランスを開催しています。医師・看護師のみならず薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカー、心理療法士らによる多職種連携により患者様の社会的・経済的な背景もふまえて適切な治療方針を検討し、患者教育・生活指導・運動処方を試みています。

診療実績（令和7年度）

PCI治療 … 78件、POBA（経皮的冠動脈形成術） … 32件

STENT（経皮的冠動脈ステント留置術） … 43件

心臓カテーテル検査（Cine angio）（穿刺部位：橈骨動脈119・大腿動脈30） … 149件

IVUS（血管内超音波検査） … 75件、アセチルコリン負荷（冠攣縮性狭心症の薬物誘発試験） … 12件

心筋生検 … 7件、IABP（大動脈バルーンパンピング法） … 10件

冠動脈CT … 99件、ペースメーカー植込術 … 19件、ペースメーカー交換術 … 12件

●生理検査

心臓超音波検査 … 3,055件、ホルター心電図 … 524件、ABI … 225件

脈管エコー … 513件、運動負荷心電図 … 33件

●心臓核医学検査

Tc安静心筋血流シンチ … 9件、Tc薬物負荷心筋血流シンチ … 29件

BMIPP心筋脂肪酸代謝シンチ … 1件、肺血流シンチ … 2件

こまつ のぶ お
小松 宣夫

副院長
循環器科部長



■専門：虚血性心疾患（冠動脈インターベンション）
末梢動脈疾患

■資格：医学博士
福島県立医科大学臨床教授（循環器内科）
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 専門医
日本心血管インターベンション治療学会 専門医

わたなべ やすゆき
渡邊 康之

循環器科部長
放射線診断科部長



■専門：虚血性心疾患、
心不全全般、ペースメーカー

■資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 専門医
「植込み型除細動器／
ペースティングによる心不全治療」研修修了
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医
日本医師会認定産業医

すずき よしのり
鈴木 喜敬

循環器科副部長



■専門：循環器疾患全般

■資格：内科専門医
循環器内科専門医
臨床研修指導医

よしなり かずゆき
吉成 和之

循環器科主任部長
リハビリテーション科部長



■専門：虚血性心疾患、心不全

■資格：医学博士
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医

さんど まさひと
三戸 征仁

循環器科部長
健康診断部長



■専門：循環器一般

■資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 専門医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了
産業医科大学基本講座ディプロマ



すずき しげあき
鈴木 重文

循環器科部長

■専門：虚血性心疾患、心不全、心臓核医学診断
心臓リハビリテーション

■資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本核医学会 専門医・PET核医学認定医
日本循環器学会 専門医、日本高血圧学会 専門医
社会医学系専門医協会 専門医
労働衛生コンサルタント 保健衛生
日本心臓リハビリテーション学会 認定指導士
日本職業・災害医学会 労災協力医
第4回全国労災病院臨床研修指導医講習会修了
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医プログラム責任者
日本医師会認定産業医
長時間労働医師面接指導研修修了



〈特 色〉

福島労災病院外科は、日本外科学会専門医制度修練施設・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設で、現在 8 人（専門医 5 名／指導医 3 名：2026 年 5 月現在）で診療しています。食道から肛門までの消化管と肝胆膵領域の疾患全てに対応する消化器外科を中心とし、甲状腺や乳腺疾患も含めた広範囲の外科診療に対応しています（※下記診療実績参照）。手術症例は例年約 700 件（鏡視下手術は約 250 件）を数え、症例数が多いことから、専門医を目指す外科医や専門医を取得した後に外科の技術を高めたい外科医には、良い修練の場でもあります。

〈力を入れている取り組み〉

手術の対象にがんが多い（例年約 250 件）ことから、手術だけではなく術前・術後や再発症例への抗がん剤治療、そして再切除手術、放射線治療医との連携、更にはがんによる辛い症状を緩和する緩和ケアも含めた集学的がん治療に力を入れています。外科の診療は外科医のみではなく、診療看護師や専門・認定看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など多くの医療スタッフとのチームで対応することを大切にしています。また、昨今声高に唱えられる EBM（evidence-based medicine, 根拠に基づく医療）のみならず、NBM（narrative-based medicine, 患者様の思いに寄り添う医療）にも配慮した外科医療を心がけています。

診療実績

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
全身麻酔症例	592	522	504
脊椎麻酔症例	17	14	5
局所麻酔症例	206	212	192
計	815	748	701

疾患臓器	手術件数（重複症例再掲有り）		
甲状腺（悪性）	18(8)	23(8)	15(7)
乳腺（悪性）	32(30)	31(29)	23(23)
食道（悪性）	8(8)	8(7)	5(5)
胃（悪性）／鏡視下	75(70)／27	41(38)／5	60(47)／17
小腸（悪性）	32(3)／2	36(7)／3	35(4)／0
大腸・肛門（悪性）／鏡視下	211(122)／61	181(119)／73	177(116)／70
消化管・その他の疾患／鏡視下	5／1	6／0	3／1
肝・胆道（悪性）／鏡視下	163(23)／118	137(18)／98	139(14)／114
膵・脾（悪性）／鏡視下	10(9)／0	14(12)／2	8(5)／0
ヘルニア／鏡視下	96／11	106／41	100／57
体表・外傷・その他／鏡視下	273／3	233／1	202／2
鏡視下手術総件数	223	223	261
悪性腫瘍総件数	273	238	221

〈地域医療機関の先生方へ〉

当院は地域医療支援病院でもあり、外科は従来から『断らない外科』を標榜し、地域からの外科的対応依頼には即座の手術の可否を問わず、24時間救急対応しています。院外から紹介された患者様の治療内容は手術結果報告などで紹介元にフィードバックし、病状が重篤でない患者様、或いは抗がん剤治療などの反復的治療を終えた患者様は、地域の紹介元の先生と連携して診療する体制をお願いしています。がんの患者様などで術後5年を超えた場合でも、希望によっては検診的な観察を継続しています。患者様は、外科適応となった疾患以外にも多くの悩みや訴えを抱えています。手術という治療機会は外科医と患者様の大切な巡り会いでもあるので、原疾患以外のことでも気軽に声をかけていただければ幸いです。



むとう あつし
武藤 淳

副院長
消化器外科・一般外科部長
医療安全管理室長
中央診療部統括部長

■専門：一般外科、消化器外科、がん化学療法、緩和医療、医療マネジメント、クリニカルパス、医療安全管理、教育研修

■資格：医学博士
福島県立医科大学臨床教授
福島県立医科大学客員講師
日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本胸部外科学会 認定医
臨床研修プログラム責任者
がん治療に携わる医師向け緩和ケア講習会指導者
日本メディエーター協会研修修了（基礎編）
看護師特定行為研修指導者
医療事故調査制度支援団体統括者セミナー修了
医療事故調査支援センター管理者実務者セミナー修了

きくち ともひろ
菊池 智宏

消化器外科・一般外科主任部長
中央手術部長
消化器病センター副センター長

■専門：一般外科・消化器外科、内視鏡外科、食道外科

■資格：医学博士
日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会
技術認定医・ロボット支援手術プロクター
日本食道学会 食道科認定医
緩和ケア研修会修了
看護師特定行為研修指導者
臨床研修指導医



またよし かずひと
又吉 一仁

消化器外科・一般外科部長



■専門：消化器外科、緩和医療、乳腺外科

■資格：医学博士
日本外科学会 専門医
日本消化器外科学会 認定医
消化器がん外科治療認定医
日本乳癌学会 認定医
がん治療に関わる医師向け緩和ケア講習会指導者
日本乳がん検診精度管理中央機構
検診マンモグラフィ読影認定医師A評価
麻酔科標榜医
臨床研修指導医





みやざわ まさつぐ
宮澤 正紹

消化器外科・一般外科部長
麻酔科部長

■専門：消化器一般外科、肝胆膵外科、内視鏡外科

■資格：医学博士

福島県立医科大学臨床教授

福島県立医科大学客員講師

日本外科学会 専門医・指導医

日本肝臓学会 専門医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本消化器外科学会 専門医・指導医

日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医

日本内視鏡外科学会 技術認定医

日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員

Infection Control Doctor (ICD)

日本外科感染症学会 外科周術期感染管理認定医

日本外科感染症学会 周術期感染管理暫定教育医

麻酔科標榜医

緩和ケア研修会修了

日本医師会認定産業医

臨床研修指導医



いし い こう
石井 恒

消化器外科・一般外科部長

■専門：消化器外科

■資格：緩和ケア研修会修了

臨床研修指導医



はやしした そう へい
林下 宗平

消化器外科・一般外科副部長

■専門：消化器外科

■資格：医学博士

日本外科学会 専門医

緩和ケア研修会修了

臨床研修指導医



すえなが か な こ
末永 佳奈子

消化器外科・一般外科医師

■専門：消化器外科

■資格：緩和ケア研修会修了



あいかわ く み こ
會川 久美子

診療看護師

■専門：外科術後病棟管理

■資格：診療看護師 (Nurse Practitioner: NP)

3学会合同呼吸療法認定士

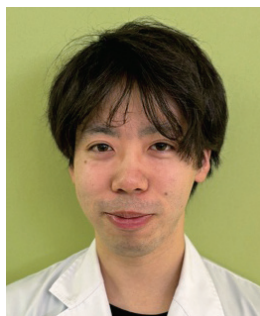
看護師特定行為研修指導者

Registered General Nurse (UK)

High Dependency Unit

介護支援専門員 (ケアマネジャー)

緩和ケア研修会修了



すず き よし き
鈴木 喜貴

消化器外科・一般外科医師

■専門：消化器外科

■資格：医学博士

緩和ケア研修会修了

呼吸器外科

(呼吸器疾患センター)

〈特 色〉

2019年4月より産業医科大学（福岡県北九州市）から赴任し、2023年から呼吸器外科常勤医は2名です。院内で十分な連携を取りながら日常診療を行っています。肺がんを中心とした肺、縦隔、胸壁などあらゆる胸部疾患の外科診療を行っております。

肺がんは日本で最も死亡数の多いがんです。早期であれば手術が最も治癒の期待できる治療法ですが、発見されたときには進行している場合が多く、放射線治療や抗がん剤治療を組み合わせた治療が選択されます。当科では、胸腔鏡手術などの低侵襲手術に積極的に取り組んでおり、進行症例においても集学的治療（放射線治療や抗がん剤治療、それらを組み合わせた手術療法）など適切な治療を選択しております。

産業医科大学第2外科（出身医局）のモットーである「自分や自分の家族が病気になったときに受けたい医療を」を目指していわき市で邁進して参ります。

〈地域医療機関の先生方へ〉

肺がんを含めたがん診療は、現在プライマリケアから高度、先進医療に至るまで多岐に及んでおります。必要な場合は、産業医科大学第2外科より応援を得て外科診療にあたっております。

また、当院で対応が困難な場合は、福島県立医科大学やがんセンターなど病態に応じてご紹介させていただきます。

扱える疾患

●胸部疾患の手術

（※胸腔鏡を用いた手術や検査も実施しています）

肺がん、転移性肺腫瘍（他臓器のがんが、肺へ転移したもの）

気胸、縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫、膿胸

その他の疾患（胸壁腫瘍、胸腔鏡下肺組織生検など）

※特に原発性肺がんの手術では、産業医科大学第2外科の応援を得て診療にあたっています。



ひら い あや こ
平井 文子

呼吸器外科主任部長
呼吸器疾患センター長
臨床工学部長

■専門：呼吸器外科

■資格：医学博士

日本外科学会 専門医

日本呼吸器外科学会 専門医

日本呼吸器内視鏡学会 専門医

日本がん治療認定医機構

がん治療認定医

日本胸部外科学会 専門医

臨床研修指導医

緩和ケア研修会修了

日本医師会認定産業医

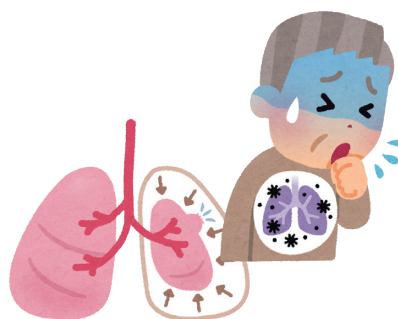
産業医科大学基本講座ディプロマ

ちょうなん あか り
長南 明莉

呼吸器外科医師

■専門：呼吸器外科一般

■資格：産業医



■学会認定施設：

日本外科学会外科専門医制度修練施設
（指定施設）

呼吸器外科専門研修連携施設

日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設

〈特 色〉

当院では怪我や骨折の外傷治療のみでなく、肩関節・肘関節・手関節周囲上肢機能の改善を目的とした上肢機能再建センターを設けており、専門的知識を駆使して治療にあたっています。

また、日常生活を送る上で歩く機能を維持・改善するために下肢荷重関節（股関節・膝関節）の痛みに対する専門的治療や脊椎疾患に伴う疼痛性障害や歩行障害の治療も行っております。

〈主な疾患〉

一般外傷、上肢機能障害、股関節・膝関節障害、腰部脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折など

骨折手術・上肢関節鏡や機能再建手術、人工関節手術、椎弓切除術や脊椎固定術、経皮的椎体形成術などを主に行っております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

背景として、日本の総人口の減少が進む一方で、高齢者人口は増え続けています。高齢者医療は単なる「医療」だけでは不十分なこともあり、健康寿命を長く維持することが重要です。そのためには、福祉や介護へつなげていく視点も必要となります。

健康寿命とは、健康上の問題なく日常生活を送ることができる期間のことで、平均寿命と健康寿命の間には、男性で約9年、女性で約13年もの差があると言われています。

当院では専属の医療ソーシャルワーカーを配置しており、患者様の居住環境や障害が残る可能性、経済面などを考慮しながら、退院後も最善の治療や介護が受けられるよう相談支援を行っています。

また、リハビリテーションにおいても、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が患者様の状態に合わせて無理のないリハビリテーション計画を立案し実施しています。退院後もご自身の生活に戻れるよう、外来通院でのリハビリテーションや、デイサービスなど自宅近隣でのリハビリテーション継続につながるようサポートしています。若い世代だけでなく、高齢者も含め皆で元気ないわきを作っていくことが、これからの時代には必要となっています。整形外科としても、患者様がこれまでの生活を維持できるよう、安全かつ低侵襲な治療を心がけ診療にあたっております。

〈上肢機能再建外科センターについて〉

上肢機能障害（肩関節、肘、手関節機能障害）でお困りの患者様や学生のスポーツ障害に対しては、月曜日午後（午後2時から4時30分まで診療）および金曜日午前（午前10時から12時まで診療）にて特別診察枠（完全予約）を設けておりますのでお気軽に病院におたずねください。

扱える疾患

関節疾患（人工関節等）、外傷性骨折等に対する手術実施を中心とする診療、上下肢骨折および脱臼、上下肢スポーツ障害

●代表的な疾患

肩腱板断裂、肩関節脱臼、五十肩（凍結肩）、投球障害肩、肩・肘・手関節周囲の骨折、変形性手関節症・手根骨骨壊死、スポーツによる上肢機能障害、上肢神経障害、下肢変形性関節症、大腿骨頭壊死、膝骨壊死、脊椎圧迫骨折



もりしま みつる
森島 満

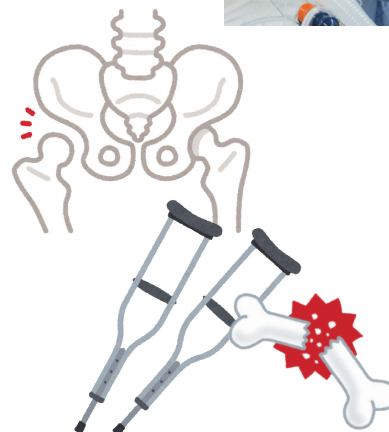
整形外科主任部長

東京医科大学運動機能再建外科学いわき地域教育寄付講座助教

■専門：整形外科一般、関節・外傷

■資格：日本整形外科学会 専門医・指導医・認定リウマチ医

※股関節に対する手術 で検索



たか せ かつ み
高瀬 勝己

整形外科部長

上肢機能再建外科センター長

第 49 回日本肩関節学会学術集会会長（2022 年 10 月開催）

■専門：上肢機能再建

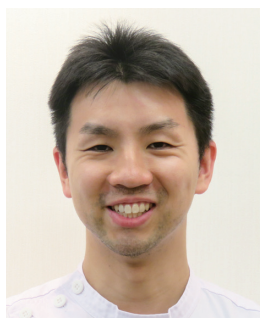
■学会役職：日本肩関節学会代議員、日本肘関節学会評議員、日本手外科学会代議員

日本スポーツ整形外科学会評議員、日本膝関節学会評議員、韓国肩・膝関節外科学会名誉会員

■資格：医学博士

日本整形外科学会 専門医・認定スポーツ医・リウマチ認定医

日本手外科学会 専門医・指導医・認定医



さきさか こう た ろ う
向坂 滉太郎

整形外科医師

■専門：整形外科一般

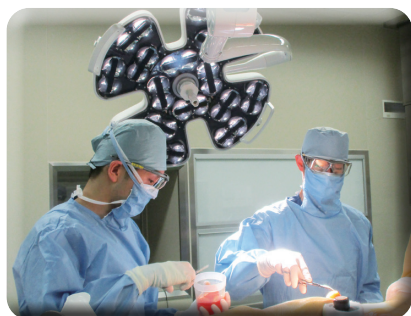
■資格：整形外科専門医、緩和ケア研修修了



よこた ゆう ご
横田 悠吾

整形外科医師

■専門：整形外科一般



脳神経外科

〈特 色〉

2021年4月に脳神経外科を開設して6年目、病院長を含め4名の常勤医で協力し、脳神経外科救急診療や一般外来診療、各疾患の手術や急性期治療などを行っています。2025年度は、430名の入院（脳血管障害228名、頭部外傷85名、脳腫瘍46名など）、151件の手術（表参照）に対応しました。いわき市救急輪番体制再編の影響で当院への救急搬送件数が減少し、入院も手術も2024年度と比較して約4分の3まで減少しました。今年度は救急受入れの増加に努めたいと考えています。

当院では、救急疾患、脳腫瘍、てんかんや三叉神経痛などの機能的脳神経外科疾患の治療を特色としており、救急疾患には常時対応しています。救急診療で最も多いのは脳卒中ですが、当院は日本脳卒中学会が認定する一次脳卒中センターおよび脳卒中研修教育施設です。市内ではいわき市医療センターと石井脳神経外科・眼科病院も一次脳卒中センターで、脳梗塞急性期のカテーテルによる血栓回収術はこの3施設しかできません。昔は治らなかった脳梗塞ですが、今は血栓回収術により後遺症なく回復することもあります。時間との戦いですので、脳梗塞を疑ったらできるだけ早く救急搬送をお願いします。脳出血に対する穿頭による内視鏡血腫除去術や、くも膜下出血に対する破裂脳動脈瘤クリッピング術およびコイル塞栓術、外傷性頭蓋内出血に対する小開頭による内視鏡血腫除去術も積極的に行っています。また、消化器科や外科によるがん診療は当院診療の柱ですので、転移性脳腫瘍に対する手術や放射線治療も行っています。

いずれの疾患でも、患者様やご家族には常にわかりやすい説明を心がけ、十分に理解いただいた上で最善の治療を進めています。地域の先生との連携を大切にして、救急を含めたご紹介には速やかに応じるように努めていますので、いつでもお気軽にご連絡ください。

〈力を入れている取り組み〉

当院では、内視鏡や3D外視鏡による低侵襲な高精細モニター手術（鏡視下手術）を得意としています。

齋藤院長はこれまでに髄膜腫、聴神経鞘腫、下垂体腺腫など多くの脳腫瘍を手術してきました。その経験に加えて、遠藤医師は内視鏡・外視鏡手術（鏡視下手術）を得意としており、当院の脳腫瘍手術は顕微鏡手術から低侵襲の鏡視下手術に進化しました。三叉神経痛や顔面痙攣に対する微小血管減圧術も、内視鏡を用いて低侵襲に手術しています。

また、カテーテルによる脳血管内手術も積極的に行っています。特色に記載した脳梗塞に対する血栓回収術をはじめ、福島県立医科大学の脳血管内治療専門医と協力して、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、頸部内頸動脈狭窄に対するステント留置術などの脳血管内治療も実施しています。



扱える疾患

- ・脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）
- ・脳腫瘍
 良性脳腫瘍（髄膜腫、下垂体腫瘍、神経鞘腫など）
 悪性腫瘍（神経膠腫、転移性脳腫瘍など）
- ・頭部外傷
- ・機能的疾患（三叉神経痛、顔面痙攣、てんかんなど）
- ・その他の疾患（水頭症、炎症性疾患など）

主な手術件数

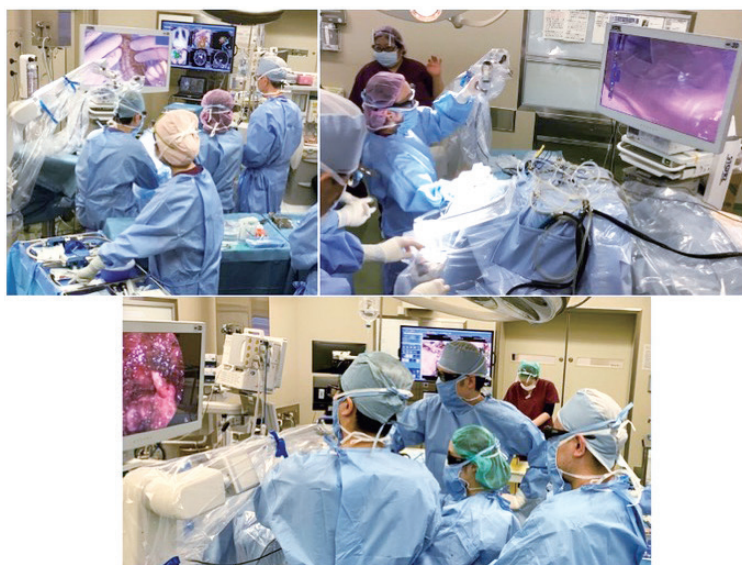
2025年度（計151件）

疾患名	手術方法	件数
脳血管障害		
脳出血	穿頭脳内血腫除去術（内視鏡手術）	13 件
脳動脈瘤	開頭クリッピング術（顕微鏡手術）	7 件
	開頭クリッピング術（外・内視鏡手術）	1 件
	コイル塞栓術（血管内手術）	3 件
脳梗塞	機械的血栓回収術（血管内手術）	17 件
脳腫瘍		
髄膜腫・神経鞘腫など	開頭腫瘍摘出術（外・内視鏡手術）	11 件
下垂体腫瘍など	経鼻的腫瘍摘出術（内視鏡手術）	4 件
転移性脳腫瘍	開頭腫瘍摘出術（外・内視鏡手術）	8 件
頭部外傷		
慢性硬膜下血腫	穿頭血腫除去術	39 件
外傷性脳内血腫	開頭血腫除去術	1 件
機能的疾患		
三叉神経痛・顔面痙攣	神経血管減圧術（内視鏡手術）	3 件

外視鏡・内視鏡による高精細モニター手術風景

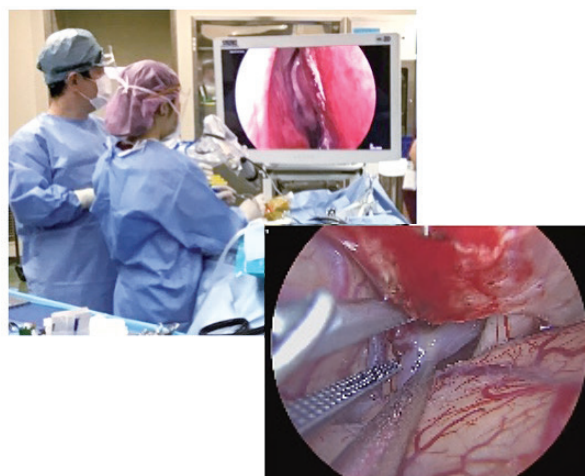
外視鏡による手術

術野の外においた外視鏡の画像を
3Dメガネをかけて立体的にみて手術



内視鏡手術

術野のなかに入れた内視鏡の
高精細で広角の画像をみて手術



内視鏡による脳動脈瘤クリッピング術



さいとう きよし
齋藤 清

病院長
勤労者医療総合センター長

■専門：脳腫瘍、間脳下垂体腫瘍、頭蓋底部腫瘍
頭蓋底外科手術

■資格：医学博士
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳卒中学会 専門医・指導医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本小児神経外科学会 認定医
緩和ケア研修会修了

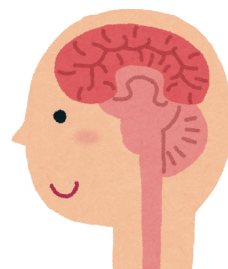


えんどう みお
遠藤 未緒

脳神経外科主任部長

■専門：脳神経外科一般、神経内視鏡術

■資格：日本脳神経外科学会
脳神経外科専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会
脳血栓回収実施医
日本神経内視鏡学会 技術認定医



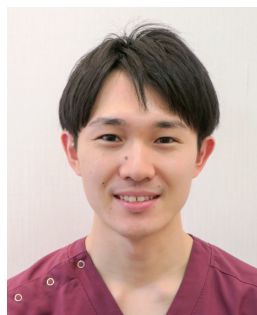
うづき だい
卯月 大

脳神経外科医師



■専門：脳神経外科一般
機能的脳神経外科、脳血管内治療

■資格：日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会 脳血栓回収実施医



おがさわら きよたか
小笠原 清剛

脳神経外科医師

■専門：脳神経外科一般



眼 科

〈特 色〉

眼科診療一般につき親切、丁寧な診療を心がけ、常に最新の医療を提供しています。また、病院内の各科との連携を生かした診療を行っています。

一般外来は火～金曜の午前です。手術日は月曜日の午前、水曜日の午後です。火・木・金の午後は完全予約診療で、手術前検査、視野検査、光凝固治療、外来小手術等を行っています。



〈力を入れている取り組み〉

視能訓練士が常勤し、様々な検査（視力検査、視野検査など）や、眼鏡合わせ、コンタクトレンズ合わせも行っております。

また、乳幼児検診の二次検査を含む、小児眼科（斜視、弱視治療）にも力を入れています。

ロービジョンケアとして医療ソーシャルワーカーと協力し、身体障害者様の資格申請、医療相談、福祉相談を行っています。また、拡大読書器、弱視レンズ等の実物を紹介、試用していただき、視覚障害者様の私生活向上を図っています。

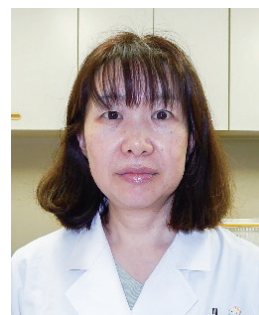
〈地域医療医機関の先生方へ〉

当院では、現在のところ、白内障手術は入院での対応となっています。全身疾患のあるリスクの高い患者様においても、他科と連携をとりながら手術が可能です。

手術治療は斜視手術、眼瞼下垂手術、内反症手術なども行っていますが、すべて局所麻酔で施行しており、全身麻酔では対応していません。全身麻酔が必要になる手術の場合には、（小児、認知症の方、眼窩壁骨折、涙道手術など）においては、他院への紹介としております。また、硝子体手術が必要な疾患（硝子体出血、重症糖尿病網膜症、網膜剥離など）においても他院へご紹介しております。加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症などの抗VEGF薬硝子体注射も随時おこなっております。適応症例がありましたら、ご紹介ください。



すずき せつこ
鈴木 説子
眼科主任部長



■専門：屈折調節、特殊コンタクトレンズ

■資格：医学博士

日本眼科学会 専門医

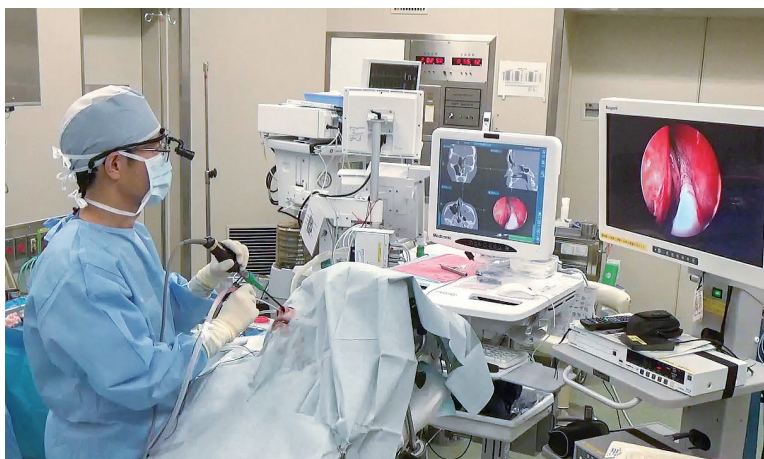
耳鼻咽喉科

〈特 色〉

耳鼻咽喉科の診療に関して、最新で適切な診断および治療を心がけています。

手術治療に関しては、慢性副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術および頸部腫瘍（耳下腺、甲状腺、顎下腺）手術などを中心に、安全で確実な手術を積み重ねて参りました。

特に2019年3月より内視鏡下鼻内副鼻腔手術において、ナビゲーションシステム（メドトロニック社製Fusion Compact ENTナビゲーションシステム）を導入し、近年増加している好酸球性副鼻腔炎症例に対しても、合併症のない安全で十分な手術を提供しております。鼻副鼻腔手術は20～30件/年行っております。



学会認定施設：日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会専門研修連携施設



すずき やすし
鈴木 康士

耳鼻咽喉科主任部長

■専門：内視鏡下鼻・副鼻腔手術（副鼻腔炎、副鼻腔腫瘍、アレルギー性鼻炎、鼻中隔湾曲症など）
頸部腫瘍に対する手術（耳下腺、甲状腺、顎下腺、頸部嚢胞など）

■資格：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門医
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門研修指導医
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 補聴器相談医

放射線治療科

〈特 色〉

放射線治療は、手術、薬物治療と共に、がんの三大治療の一つです。当院では通常の三次元原体照射（3DRT）の他に、定位放射線治療（SRT）や強度変調放射線治療（IMRT）という高精度放射線治療を提供しています。令和7年4月には、日本放射線腫瘍学会（JASTRO）のJASTRO認定施設として認可されました。福島県内のJASTRO認定施設は、福島県立医大、南東北病院に次ぐ3施設目です。

定位放射線治療は病巣に放射線を集束して照射する方法で、短期間で治療が終了します。適応となる病態は、少数の脳転移、手術困難な早期肺がん（病理診断がつかない例も治療します）、小型肝がん、少数の転移（脊椎転移、副腎転移など）などです。手術と遜色のない成績が報告されていますので、ご高齢な方や手術を拒否される患者様にはお勧めの治療です。また、少数の遠隔転移に対する定位体幹部放射線治療（SBRT）は、生存期間の延長が得られることから保険診療として認められています。

強度変調放射線治療は正常組織の副作用を少なくできる治療法で、前立腺がん、肺がん、食道がん、頭頸部がん、脳腫瘍など限局性病変であれば全身のあらゆる臓器に行うことができます。前立腺がんのIMRTでは、直腸と前立腺の間にハイドロゲルスパーサ（Space OARという）を挿入することで、さらに直腸障害の軽減を図っています。昨年度の実績は全治療患者数が約240名で、SRTを30例、IMRTを50例実施しました。

1回に投与する放射線量を増やして、治療期間を短くする寡分割照射も取り入れています。具体的には、乳房温存術後放射線治療は16回、前立腺がんのIMRTでは20回で治療が終了するスケジュールも選択することができます。勤労者や遠距離通院の患者様に適した治療と考えています。

がんによる様々な症状を和らげる「緩和照射」も積極的に行っています。骨転移による痛み、脳転移や脊髄圧迫症状、がんからの出血や疼痛、血管やリンパの圧迫による浮腫などでお困りの患者様がおられましたら是非ご紹介下さい。在宅療養されている患者様でも緩和照射の適応となることがありますのでご相談下さい。

〈地域医療機関の先生方へ〉

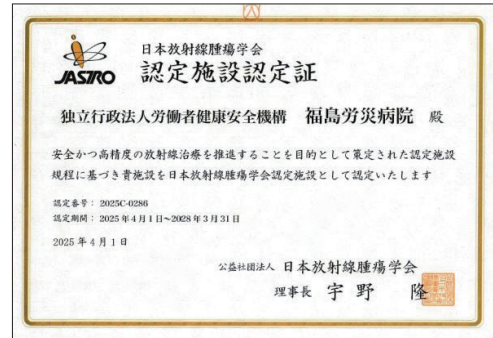
放射線治療の紹介や適応に関する相談は、原則として地域連携室を通してご紹介下さい。急ぎの場合には、電話での相談にも対応させていただきます。通院困難な患者様は放射線治療科または関連診療科に入院が可能です。

扱える疾患

すべての悪性腫瘍、一部の良性疾患（下垂体腺腫、甲状腺眼症、血管腫、ケロイドなど）が放射線治療の対象となります。定位放射線治療（SRT、SBRT）、強度変調放射線治療（IMRT）を行っています。小線源治療、粒子線治療、その他の放射線治療、ハイパーサーミアに関する相談を受けています。

当院で治療困難な患者様は福島県立医大、筑波大学をはじめ、適切な施設をご紹介いたします。

たまき よしお
玉木 義雄
 放射線治療科部長



■専門：放射線治療全般

■資格：医学博士

福島県立医科大学 特任教授

同 地域医療支援センター認定指導医

日本専門医機構 放射線科専門医

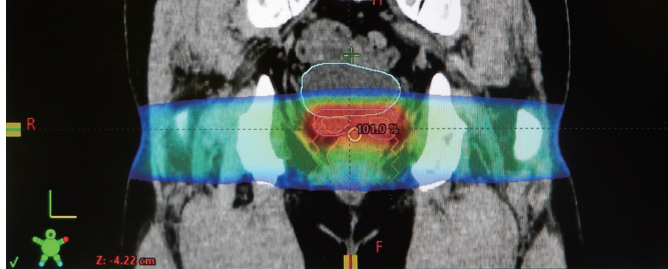
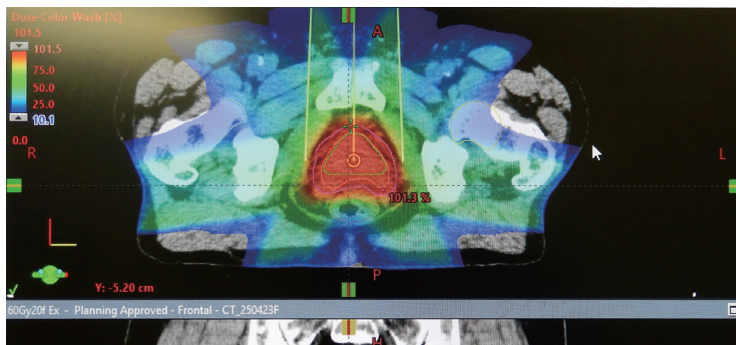
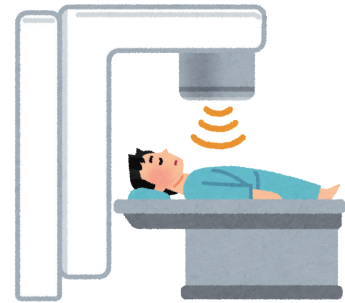
日本医学放射線学会/日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医

日本医学放射線学会 研修指導医

日本ハイパーサーミア学会 指導医

緩和ケア研修会修了

臨床研修指導医



病理診断科

〈特 色〉

スタッフは常勤病理医1名、臨床検査技師3名（うち細胞検査士1名）で構成されています。また長年当院で病理診断に携わられた箱崎半道医師に週1日、福島県立医科大学病理病態診断学講座の若手の病理医に月1日診断応援をいただいています。

主な業務は生検／手術検体の組織診断、細胞診断、術中迅速診断、病理解剖です。当院の強みである消化器科や外科からの検体が多くを占めているのが特徴です。各診療科の学会発表支援、初期臨床研修医によるCPC（臨床病理検討会）の指導も行っています。

〈地域医療機関の先生方へメッセージ〉

細胞診は検体採取から最速で翌日、内視鏡などからの生検は最速で2日、手術検体は約1～2週間で病理診断書として主治医に報告し、早期に治療方針が決定できるよう努めています。手術検体の切り出しは、過固定にならないよう原則手術の翌朝に行っています。特に肺癌の切り出しは胸膜浸潤や断端の位置を考慮した断面作成が求められるため、全例について呼吸器外科医の立ち会いのもとで行っております。

病理診断は疾患概念や腫瘍組織分類についての知見が日々進歩しているため、最新のガイドラインや取扱い規約

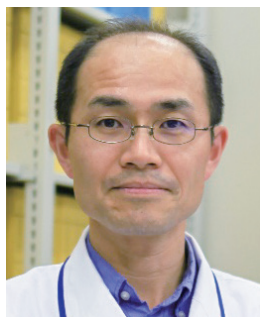


に沿うように心がけています。特殊染色や免疫染色を追加しても診断が難しい症例は、日本病理学会・国立がん研究センター病理診断コンサルテーションシステムや福島病理研究所などに診断意見を仰いで対応しています。

最近では分子標的薬が普及し、従来の形態診断に加えて分子診断や遺伝子パネル検査がなされるようになってきました。核酸品質が良好に保たれたホルマリン固定パラフィン包埋検体を作成するために、適切な工程管理が求められます。臓器摘出後の適切な腫瘍部採取と速やかなホルマリン固定が最も重要なので、特に大腸癌や肺癌では術中迅速診断と同時に腫瘍部採取も行われています。

かとう ともや
加藤 智也

検査科主任部長
病理診断科主任部長



■専門：病理診断学

■資格：日本専門医機構認定病理専門医
日本病理学会病理専門研修指導医
厚生労働省死体解剖資格認定
日本臨床細胞学会 細胞診専門医

診断件数

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
組織診断	3,430	3,286	3,374	3,054	2,974	2,986
細胞診断	1,709	1,487	1,566	1,548	1,359	1,356
術中迅速診断	317	307	327	299	292	271
病理解剖	2	1	0	1	2	2

麻 酔 科

〈特 色〉

- ・周術期の安全管理、特に手術中の安全管理。
- ・手術後の疼痛管理（硬膜外麻酔、超音波ガイド下神経ブロック、PCAなど）



みやざわ まさつぐ
宮澤 正紹

麻酔科部長
消化器外科・一般外科部長

麻酔には全身麻酔、区域麻酔、局所麻酔などがあり、患者様の状態や手術内容に応じて適切な方法を選択しています。麻酔科では、手術を安全に受けていただくための周術期管理を行うとともに、術後の痛みを軽減し、早期回復につながるよう支援しております。

現在、当院では外科部長が麻酔科部長を兼務しており、外科診療で培った知識と経験を活かしながら、安全で質の高い周術期管理に努めています。手術や麻酔に関するご質問やご不安な点がございましたら、お気軽にご相談ください。



皮 膚 科

一般皮膚科診療に加え、皮膚リンパ腫、膠原病、自己免疫性水疱症（天疱瘡、類天疱瘡など）、皮膚ウイルス感染症など皮膚疾患全般を幅広く取り扱っています。

月曜日、火曜日、木曜日は地域の医療機関からの紹介患者様に加え、皮膚症状で受診希望の方の診療を行います。

金曜日は午前中のみ診療で、福島県立医大医師による予約制の外来診療です。初診診療は行っておりませんのでご了承ください。

いわつき けいじ
岩月 啓氏 医師（月・火曜日）

【略歴】 福島県立医大・岡山大学病院
勤務歴有り

まつざき ひろゆき
松崎 大幸 医師（木曜日）

【略歴】 東京慈恵会医科大学附属病院
勤務歴有り

泌 尿 器 科

常勤医師不在のため、診療応援医師による外来診療を実施しております。

原則として、医療機関からのご紹介による予約診療となっております。診療予約がない場合、当日の診療対応ができない場合、または診療まで相当の待ち時間が発生する場合があります。診療の予約は、医療機関からのご紹介を基に地域医療連携室にて予約をお取りいたします。患者様ご本人またはご家族からの直接のご予約は行っておりませんので、ご了承ください。

なお、入院診療が必要となる場合や体外衝撃波結石破碎術（ESWL）の適応となる場合など、必要に応じて他の医療機関に紹介させていただく場合がありますので予めご了承ください。

月・水 東京女子医大より診療応援
金 常磐病院より診療応援

婦 人 科

女性総合外来として、いわき地区の皆様により良い診療を提供して参りたいと思います。

扱える疾患

- ・婦人科一般疾患
 - ・更年期障害、更年期うつ病
 - ・月経前症候群、月経前不快症状
 - ・骨粗しょう症の予防と治療
 - ・排尿障害（頻尿、尿失禁など）
- ※不妊症、手術・入院が必要な症例、救急診療は対応困難であることをご了承ください。

にしやま ひろし 西山 浩 医師

【略歴】

いわき市医療センター 産婦人科部長

【資格】

医学博士

母体保護法指定医師

日本産科婦人科学会 認定医・指導医

日本婦人科腫瘍学会 専門医・指導医

日本臨床細胞学会 細胞診専門医

日本がん治療認定医機構 認定医

緩和ケアの基本教育に関する都道府県指導者

すずき ようすけ 鈴木 庸介 医師

【略歴】

かしま病院 婦人科部長

【資格】

医学博士

産婦人科専門医

（日本産科婦人科学会、日本専門医機構）

母体保護法指定医師（日本産婦人科医会）

日本医師会 認定産業医（日本医師会）

病院総合医（日本病院会）



医療専門資格・認定資格紹介

看護部（部門・リソースナース紹介）

【看護部紹介】

「地域の人々に信頼される安全で安心できる思いやりのある看護を提供します」を理念としています。

医療・介護・行政を“つなぐ”役割を担い、リーダーシップを発揮できるよう、地域連携強化・継続看護の推進・看護外来の充実・人材育成に取り組んでいます。

看護部ではお互いを認め合い、共に成長できる職場環境づくりを目指しています。

【看護単位】9単位

【看護単位】9単位	交替勤務
地域包括ケア病棟（4東病棟）	3交代制
急性期一般入院料1 計5病棟 （4西・5東・5西・6東・6西病棟）	3交代制
手術室（BCR 1室）	待機制
外来	宿日直制
入退院支援センター	なし

【専門看護師・認定看護師・特定行為看護師】

専門看護師	1名	がん看護専門看護師
認定看護師	7名	がん化学療法、がん薬物療法看護、緩和ケア 皮膚・排泄ケア、感染管理、認知症看護
特定行為看護師	6名	診療看護師（1名） 特定行為研修修了者（5名）

がん看護専門看護師

- ・がん患者様の症状コントロール
- ・意思決定支援／ACP
- ・コミュニケーションスキル
- ・家族ケア
- ・倫理的問題への取り組み

【四家】



リソースナースが、ケアの相談を受けつけています。
悩みや問題を一緒に解決し、
地域の人へより良いケアの提供を目指しましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師

- ・褥瘡ケア・創傷ケア・瘻孔ケア
- ・失禁ケア（尿や便の漏れによる皮膚障害）
- ・ストーマケア

【蛭田】



がん薬物療法看護認定看護師

- ・抗がん薬の暴露対策
- ・在宅や施設での抗がん薬の取り扱い
- ・抗がん薬による見た目の変化（皮膚障害や脱毛など）の相談・対応

【小原】



感染管理認定看護師

- ・感染対策の基礎、介護・看護ケアと感染対策
- ・感染症発生時の対応
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスなどの個別の感染対策

【加賀】



がん化学療法看護認定看護師

- ・抗がん剤による副作用症状のサポート
- ・治療時の不安や困りごと

【金澤】



認知症看護認定看護師

- ・行動・心理症状へのケア
- ・安心につながる声かけ
- ・家族ケア

【菅野】



診療看護師

- ・医師の包括的な指示の下、一定の診療行為の実践
- ・医学の視点・生活の視点からケア・ケアを実践
- ・臨床現場での教育

【會川】



薬 剤 部

〈特 色〉

我々はくすりのスペシャリストとして、日常診療のみならず高度医療の現場で必要な薬の最新情報と知見を提供し、薬物療法の有効性と安全性を支える医療チームの一員です。

患者様に投与される薬剤の品質を保証すること、入院患者様に対しては専任薬剤師を通し、投与される薬物の有効性・安全性の確保に取り組んでいます。

患者様が安心して医療が受けられるよう、一人ひとりに寄り添う気持ちを大切にしています。

これからも病院薬剤師は幅広い知識と経験を活かし、いわき市の医療従事者として貢献していきます。



日本病院薬剤師会	病院薬学認定薬剤師	6名
日本病院薬剤師会	認定指導薬剤師	7名
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師	2名
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	8名
日本薬剤師研修センター	認定薬剤師	2名
日本薬剤師研修センター	漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会	麻薬教育認定薬剤師	1名
日本医療情報学会	医療情報技師	2名
日本臨床栄養代謝学会	NST専門療法士	2名
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	3名
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療専門薬剤師	1名
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	1名
日本麻酔科学会	周術期管理チーム認定薬剤師	1名
日本臨床腫瘍学会	がんゲノム医療コーディネーター	1名
日本循環器学会	心不全療養指導士	2名
日本循環器病予防学会	循環器病予防療養指導士	1名
日本骨粗鬆症学会	骨粗鬆症マネージャー	2名
労働者健康安全機構	両立支援コーディネーター	1名
福島県肝炎医療コーディネーター		12名
福島県糖尿病療養指導士		2名
公認スポーツファーマシスト		1名
安全衛生技術試験協会	第一種衛生管理者	3名

中央検査部

〈特 色〉

中央検査部は、病気の診断や治療に必要な情報を迅速かつ正確に提供する病院の中核部門です。血液や尿などの検体分析から、超音波や心電図などの生理機能検査、細菌検査、病理検査まで幅広く対応しています。検体検査、輸血検査、細菌検査、生理検査、病理・細胞診検査の5部門で、専門知識を持つスタッフが活躍しています。

検体検査部門では、尿、便、体腔液などの検体から、蛋白や糖の有無、悪性細胞の検出などを行います。血液検査では、自動血球計数器で血球数を計測、凝固検査で血液の固まり具合を調べます。生化学検査では、血清や尿の成分を分析し、感染症検査でウイルス感染や梅毒の検出をサポートします。

輸血検査部門では、輸血の安全性を確保するため、血液型や不規則抗体の検査を実施します。

細菌検査部門は、病病気の原因となる細菌を特定し、適切な治療法を提案。院内感染対策にも尽力しています。

生理検査部門では、心電図、肺機能検査、超音波検査などを実施。超音波検査は、腹部、心臓、血管、甲状腺など多岐にわたり、病気の早期発見や診断に貢献しています。近年、手術室での運動誘発電位検査も増加し、手術の安全性を高めています。

病理・細胞診検査部門は、組織や細胞を顕微鏡で詳しく観察し、病気の最終診断を行います。がんの診断や治療方針の決定に重要な役割を果たしています。

《認定資格》

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 超音波検査士 | 6名 |
| 2. 輸血認定技師 | 1名 |
| 3. 栄養サポートチーム（NST）専門療法士 | 1名 |
| 4. 福島県甲状腺超音波検査者認定 | 3名 |
| 5. 輸血機能評価認定制度監視員 | 1名 |
| 6. 福島県肝炎医療コーディネーター | 11名 |
| 7. 遺伝子分析科学認定士（初級） | 1名 |

《労働衛生関連資格》

- | | |
|----------------|----|
| 1. 特定化学物質作業主任者 | 4名 |
| 2. 有機溶剤作業主任者 | 3名 |
| 3. 毒物劇物取扱責任者 | 1名 |

中央検査部は、患者さんへ迅速かつ正確な検査データを提供するため、日々努めています。チーム医療の一員として、患者さんの健康状態と病気の早期発見、適切な治療に貢献してまいります。



中央放射線部

〈特 色〉

中央放射線部は、CT検査やMRI・血管撮影・核医学検査など、高度な画像診断装置を駆使した質の高い医用画像の提供や、高エネルギー放射線による放射線治療などの診療業務を行っています。

2017年に『医療被ばく低減施設』の認定を取得し（福島県には3施設）、日々の業務の中において、厳格な装置保守管理や被ばく線量管理を実践しています。結果として、認定を受けた施設では、全国の平均的な医療被ばく線量よりも少ない被ばく線量での撮影での撮影が可能になります。あわせて、装置毎の特性を最大限に活用すべく、新しい撮影スキルや管理知識等の高い専門性を身につけるように日々研鑽しています。

その一例として、保有するCT装置には、『AI（人工知能）』を用いた最新の技術が搭載されています。AI技術の活用により、被ばく線量を少なくしながら高画質な診断画像を得ることが可能になり、従来使用していたCT装置の5分の1程度まで被ばく線量を抑えることができました。

患者様中心のチーム医療として一翼を担い、診療放射線技師の職責として、今後も、質の高い診断情報の提供と医療被ばく線量低減の遂行に努力を重ねてまいります。

第1種放射線取扱主任者	2名
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	1名
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	3名
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	3名
日本X線CT専門技師認定機構 X線CT認定技師	1名
肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師	1名
日本消化器がん検診学会 大腸CT検査技師	1名
日本医療情報学会 医療情報技師	2名
日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 医用画像情報専門技師	1名
日本放射線技師会 放射線管理士	2名
日本放射線技師会 放射線機器管理士	2名
日本放射線技師会 医療画像情報精度管理士	1名
日本放射線技師会 画像等手術支援認定診療放射線技師	1名
日本放射線技師会 A i 認定診療放射線技師	1名
日本放射線技師会 臨床実習指導教員	1名
医療研修推進財団 診療放射線技師実習施設指導者	1名



◎2025年度実績

CT	20,082件
MRI	4,234件
血管造影	1,112件
RI	597件
骨密度	829件



中央リハビリテーション部

〈特 色〉

『リハビリテーション』という言葉の意味はご存じでしょうか？

『リハビリテーション』(Rehabilitation) は、re (再び) とhabilis (適した) から成り立っています。つまり、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです。病気や外傷によって、心身の機能障害を持った患者様に対し、できる限りの回復を図り、残された能力を最大限に高め、身体的・精神的・社会的にできる限り自立した生活が送れるよう援助することで再び家庭や社会で生活できることを目指すものです。

当院では主治医をはじめ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多くの専門職が連携し、チーム医療を推進することで患者様やご家族の“その人らしく生きる”ということを目標に取り組みます。

対象疾患

脳血管疾患	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍など
運動器疾患	各骨折、変形性関節症、関節リウマチ、腱板断裂、神経損傷など
心大血管疾患	心不全、心筋梗塞、弁膜症など
呼吸器疾患	肺炎、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患など
がん疾患	手術、化学療法、放射線治療目的の入院など
その他疾患	廃用症候群など

資 格

心臓リハビリテーション指導士	2名
3学会合同呼吸療法認定士	2名
NST専門療法士	1名
認定理学療法士（呼吸）	1名
認定言語聴覚士（摂食・嚥下領域）	1名
福祉住環境コーディネーター	1名
臨床実習指導者講習会受講者	13名

在籍セラピスト

理学療法士	10名
作業療法士	4名
言語聴覚士	1名

介護支援専門員	2名
がんのリハビリテーション研修修了者	15名
リンパ浮腫複合的治療実技研修修了者	1名



内視鏡診療部



2024年4月1日より福島労災病院に内視鏡診療部が新設され、早2年が経過しました。

現在の内視鏡室は医療事務1名、看護師6名、助手2名体制で診療しております。

患者様にはわかりやすく、スムーズで、不安のないように内視鏡検査を受けていただけるように気を付けております。内視鏡が苦手な方も多数いらっしゃると思いますので、経鼻内視鏡や鎮静剤投与下での内視鏡なども可能となっております。ただし鎮静剤使用時はご自身での運転は控えていただくので、予約の時点で希望を伝えていただければ幸いです。

近年は医療機器の進歩も著しく、内視鏡で治療可能な病気が増えてきております。

今までよりさらに専門的で高度な治療を提供できるように努めてまいります。

ちなみに最近の実績では大腸ESDの件数が著しく増えております。具体的な数字は消化器科の案内をご参照ください。内視鏡室で勤務する医師は消化器科の部長職5名に加えて福島県立医科大学付属病院、産業医科大学付属病院、独協医科大学付属病院などから若手の先生方が赴任されております。さらに水曜日には独協医科大学付属病院、金曜日には福島県立医科大学付属病院から指導医が来院されて、できるだけ地元のいわきで大学病院レベルの治療を受けられるような体制を整えております。木曜日には地元の田畑クリニックの先生に検査応援をいただいております。気管支鏡検査などは呼吸器外科医師が担当しております。

今後はますます内視鏡による検査や治療が増えていくと思われますので、常に新しい情報などを取り入れて、身近な病院で安心して医療を受けられる体制づくりに努力していききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

内視鏡診療部 部長 市井 統（おさむ）



入退院支援センター

●入院支援 看護師 3 名

入院予約となった患者様に入院前に面談をさせて頂き（令和 7 年度2,865件）、入院生活の説明や入院後の治療経過の説明、患者様の生活状況（身体や精神・社会的背景など）を把握します。また、入院に必要な文書を作成し病棟との連携を図っています。入院に関する様々な不安については、解決に向けて専門看護師やMSW等と連携できるように調整します。

●退院支援 看護師 5 名 医療ソーシャルワーカー（MSW） 1 名

スムーズな退院に向けて療養先の決定や生活指導内容など患者様やご家族の要望を考慮し病棟看護師と一緒に情報提供して参ります。MSWの協力を得ながら、地域の居宅事業所や訪問看護ステーションとも連携して退院後の生活をサポートしていきます。

またその病状から、医療機器や管など挿入したまま帰宅される患者様には、病棟看護師と共にアフターケアで在宅訪問もしています。（令和 7 年度39件訪問）



相談支援センター

●医療ソーシャルワーカー（MSW） 3 名

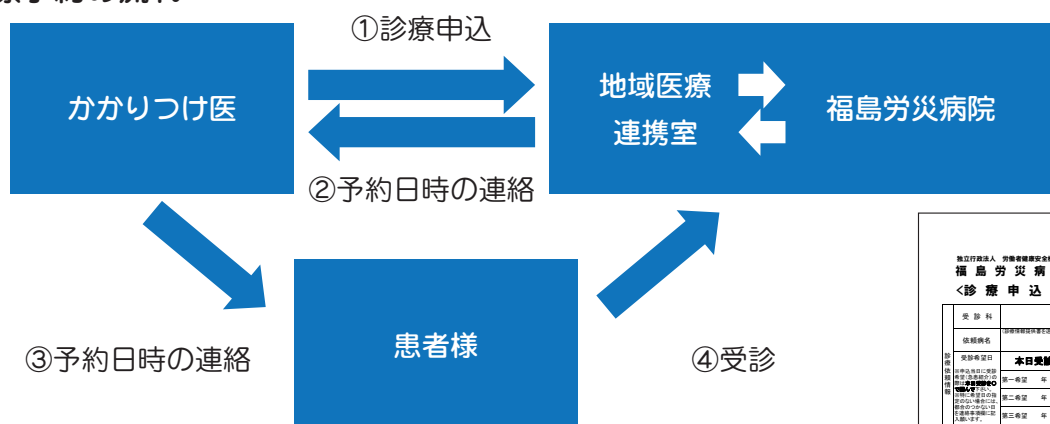
疾病を抱える患者様が住み慣れた地域において自立した生活を送ることができるよう、社会福祉の立場から、院内外の様々な専門職と連携し、心理的・社会的な問題の解決のお手伝いをします。また、当センターでは、がん相談や治療と仕事の両立支援の窓口の機能も担っています。当院に受診歴のない患者様・ご家族・事業場からの相談もお受けしますので、お気軽にご相談ください。

（令和 7 年度 利用者数1,561人）



地域医療連携室のご案内

地域医療連携室は、医療機関の間で患者紹介を扱う専用部門になります。患者様ご本人またはご家族からの診療予約を地域医療連携室にご依頼いただくことはできませんのでご了承ください。恐れ入りますが、かかりつけの医療機関から、当院地域医療連携室宛て診療申込書をお送りいただくよう、かかりつけの医療機関にご相談くださいますようお願いいたします。

[illegible]

- ## 1. 患者紹介について

患者様の紹介を申し込まれる際には、病診連携診療申込書をご利用ください。

申込書は当院のホームページからファイルをダウンロードできます。またはお電話いただければ用紙をFAX送信いたします。

診療情報提供書及び診療申込書の所定事項(受診予定日、患者属性情報、保険情報、予約有無、診察希望医師)を記入し、FAXでお申し込みいただきます。

紹介申込先 TEL : 0120-002-181 FAX : 0120-126-610

- ## 2. 申込の返信について

申込を受け付けますと、受診の日時を記入した予約通知票をFAXで送信いたします。

- ### 3. 来院時について

患者様が来院の際は、紹介状・マイナンバーカード（又は保険証）をお持ちになって、直接各診療科外来の受付へお越しくださいますようご指導お願いいたします。

- #### 4. 初診料について

当院では、紹介状をお持ちでない患者様からは保険外併用療養費（7,700円）をいただいております。FAXによる事前予約をご利用の患者様は保険外併用療養費が不要となります。

前もってカルテを作成し各科外来受付に用意しておきますので、患者様が来院の際に医事課での受付の必要が無く、受付時間の短縮につながります。

●放射線科検査申込方法について

放射線科検査の申込につきましては、下記申込用紙をご記入のうえ、当院地域医療連携室にFAXいただきますようお願いいたします。

（申込書は当院ホームページからダウンロードできます。またはお電話いただければ用紙をFAX送信いたします。）



診療申込書

CT問診票、CT同意書
MRI問診票、MRI同意書
放射線科検査一覧表



検査日時につきましては、お申込を受けたのち、日時を確定次第、ご依頼医療機関様に予約通知票をFAXにてご連絡させていただきます。また、CTおよびMRI検査につきましては、検査問診票・同意書をあらかじめ患者様にご記入いただき、医師確認欄へのご署名をお願いいたします。（なお、原本につきましては当日患者様に当院に持参いただきますようお願いいたします。）

①依頼

- ・別添申込用紙を記載し、（当院ホームページでのダウンロードも可）当院地域医療連携室にFAXにて申し込む。

②ご返事

- ・当院にて実施日時を決定したあと、ご依頼医療機関様に予約通知票を送信いたします。

③日程決定後

- ・ご依頼医療機関様は患者様に検査日時をお伝えいただくと共に、CT・MRI検査の場合は**問診票・同意書**をご記載いただき、患者様に検査当日ご持参の旨を伝えお渡しいたします。

フロアマップ

1 階

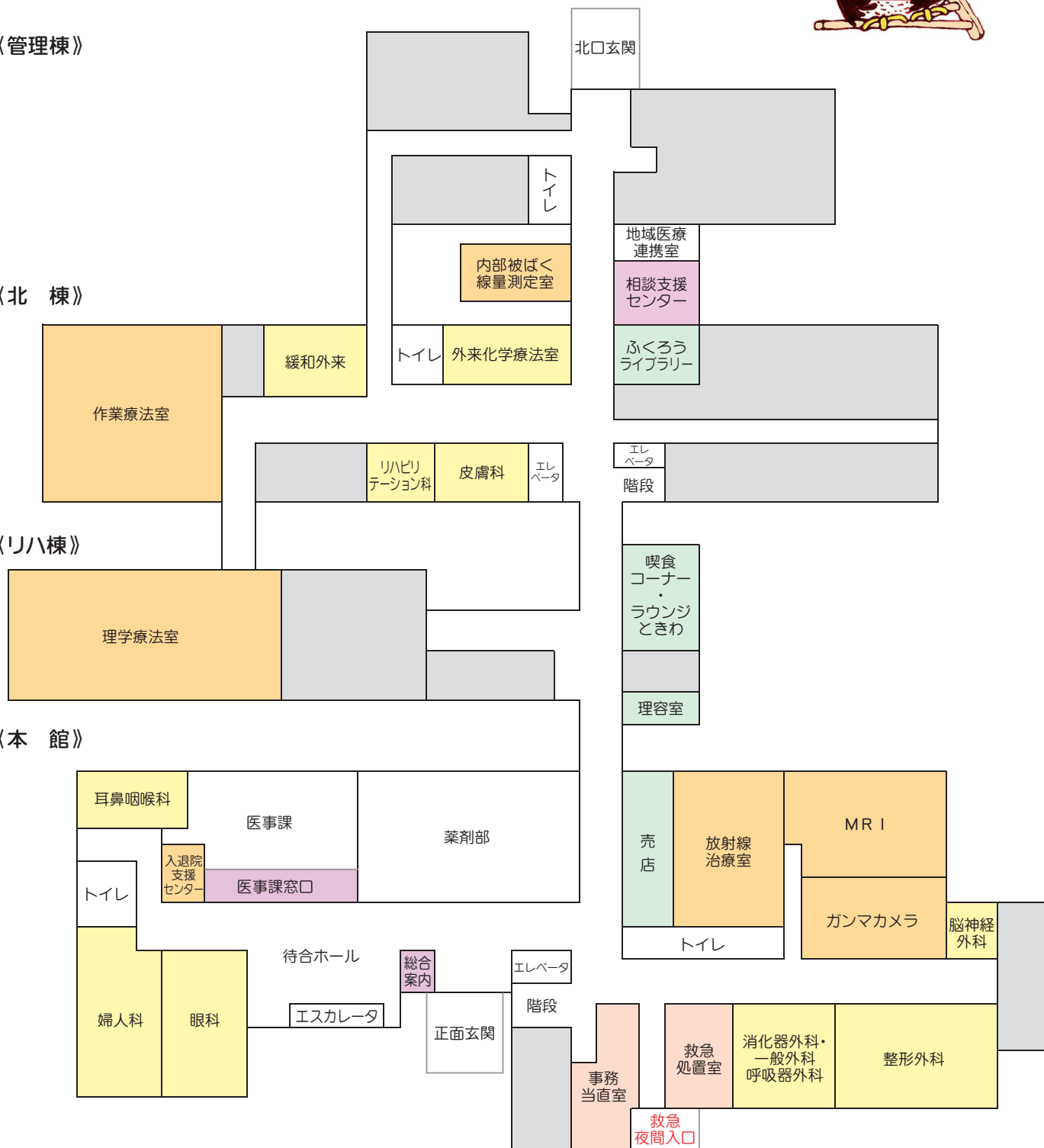


《管理棟》

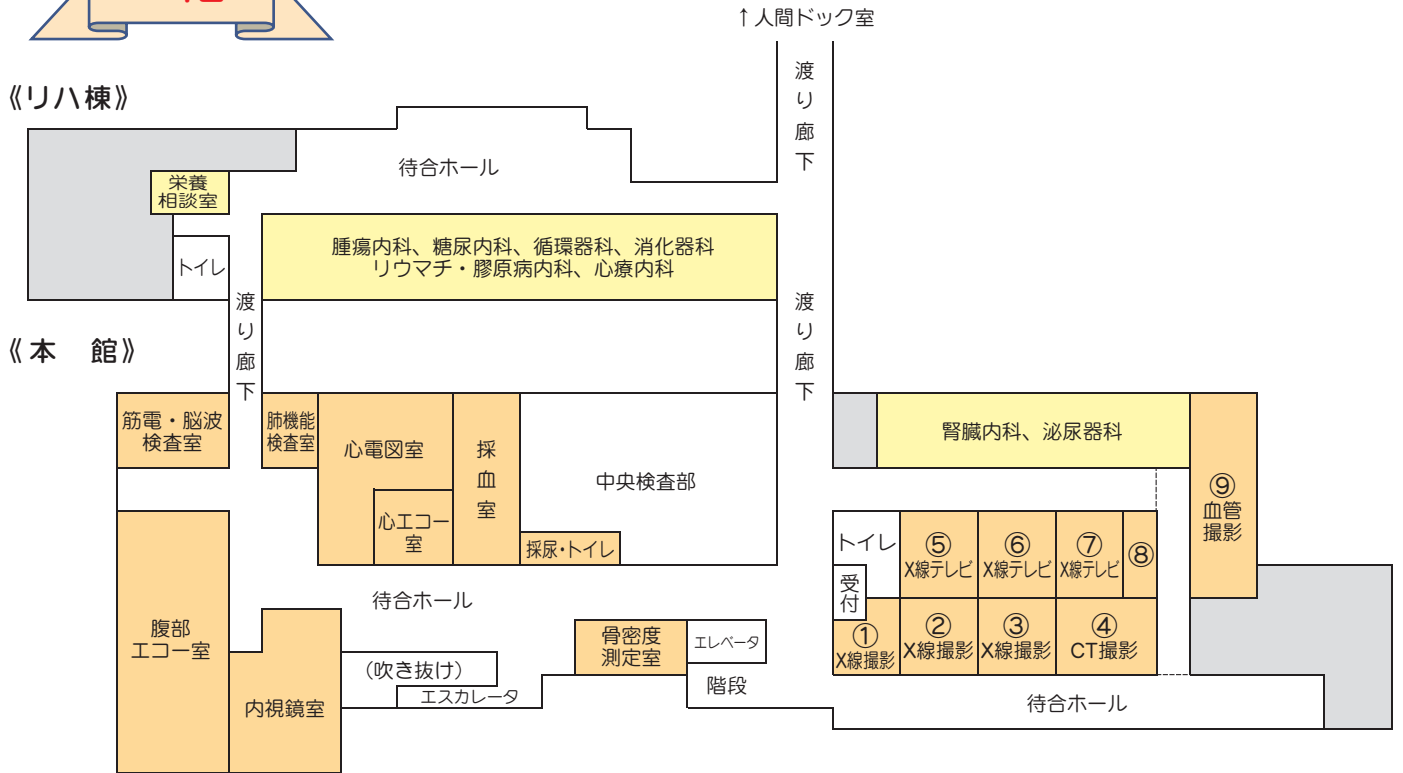
《北棟》

《リハ棟》

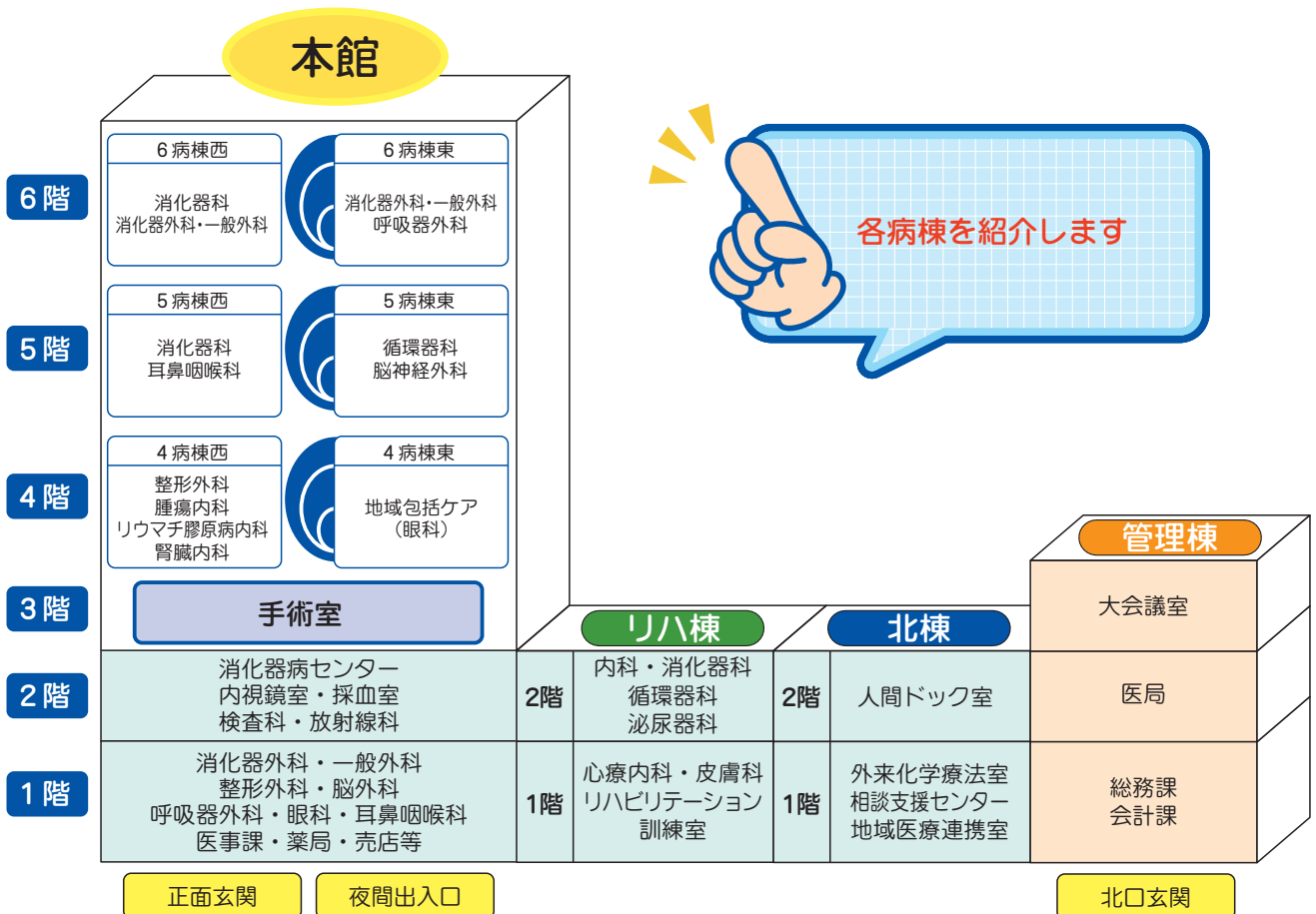
《本館》



2階



病棟



電車・バスをご利用の場合

■JRいわき駅から

新常磐交通バス乗り場3番から乗車し、
「労災病院入口」下車

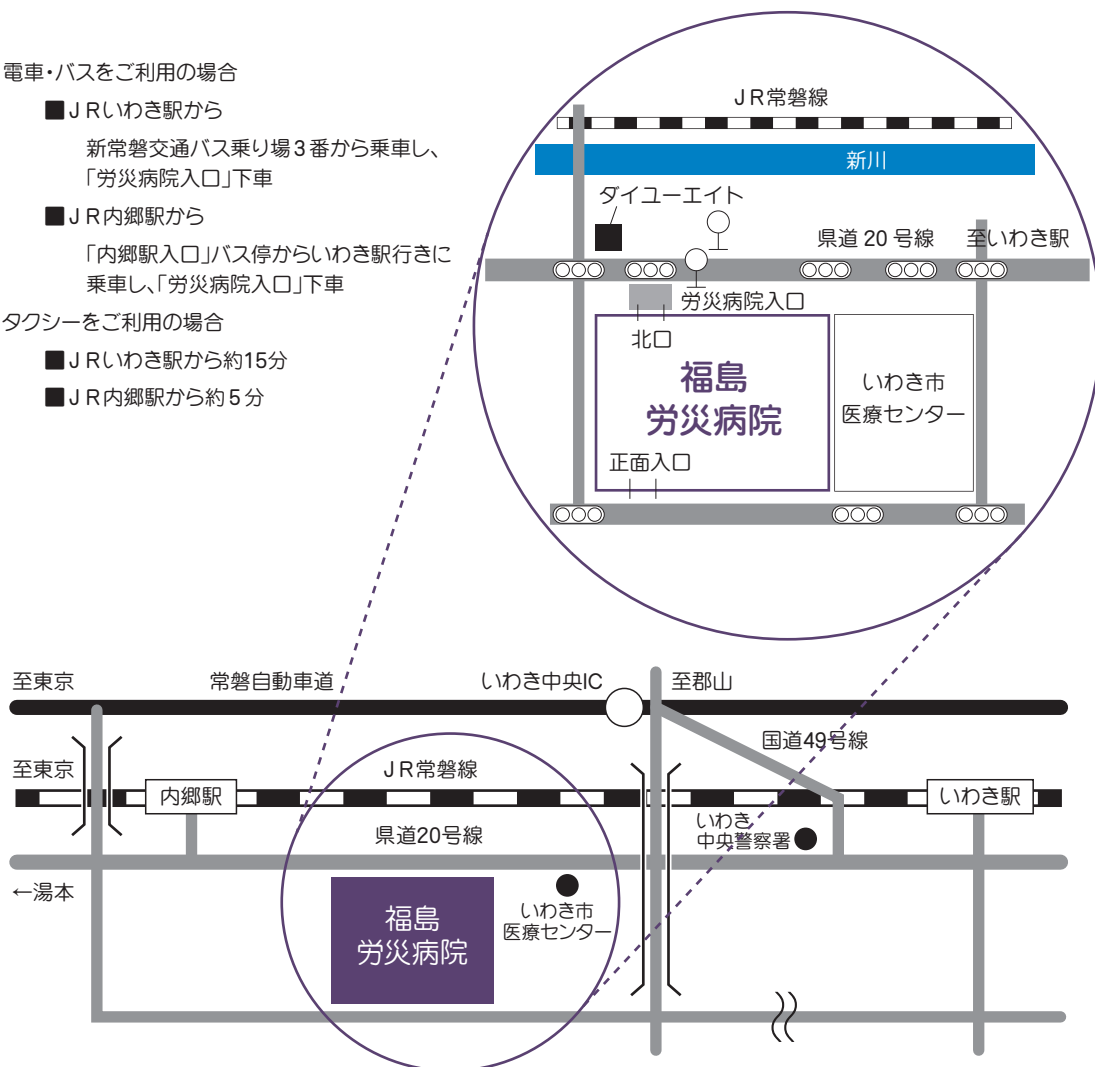
■JR内郷駅から

「内郷駅入口」バス停からいわき駅行きに
乗車し、「労災病院入口」下車

タクシーをご利用の場合

■JRいわき駅から約15分

■JR内郷駅から約5分



独立行政法人 労働者健康安全機構

福島労災病院